

経営比較分析表（令和6年度決算）

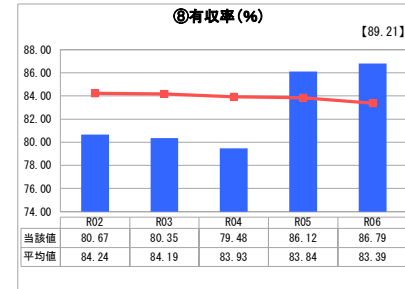
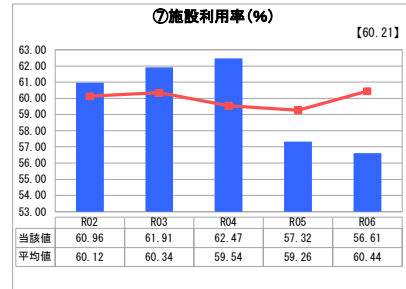
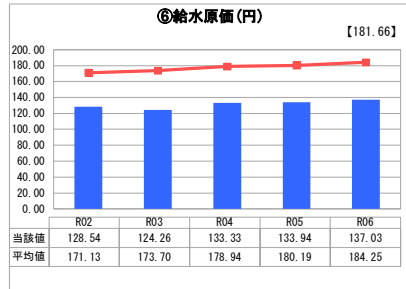
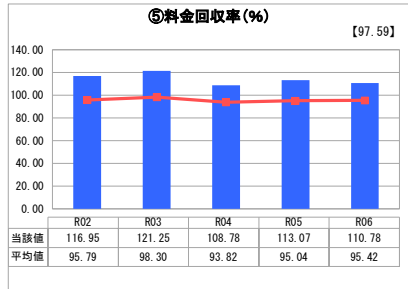
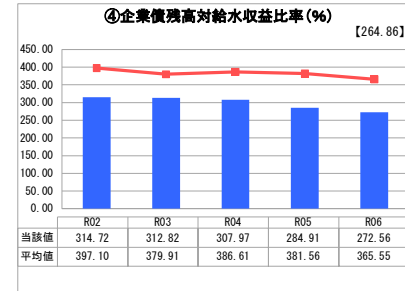
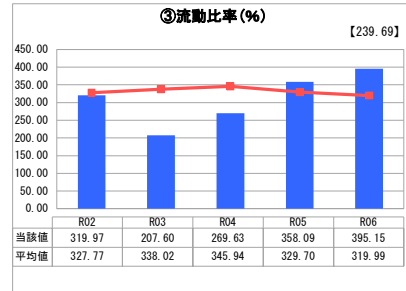
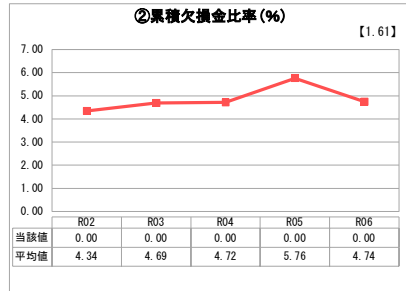
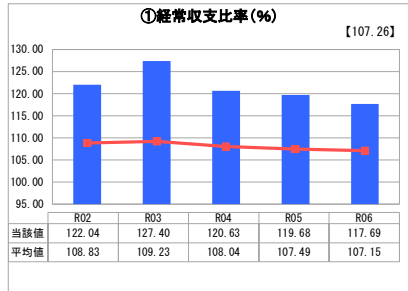
栃木県 壬生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	78.05	98.74	3,047	

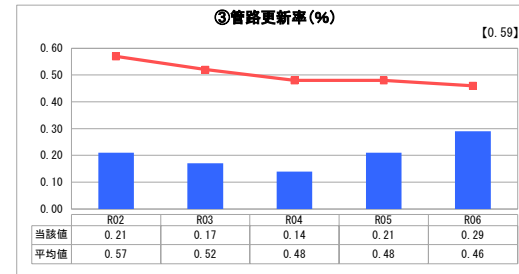
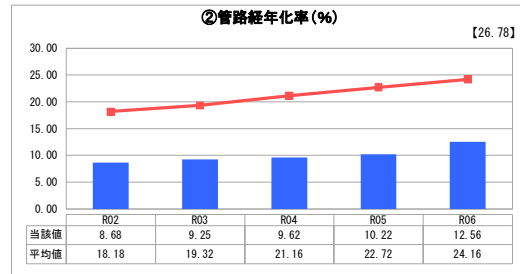
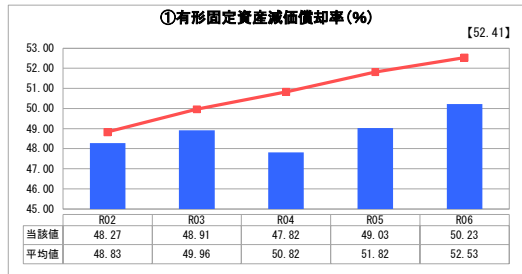
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
38,140	61.06	624.63
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
37,510	25.37	1,478.52

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、100%を上回っており健全経営が維持できている。

「②累積欠損比率」は、累積欠損金が発生していないため0%が維持できている。

「③流動比率」は、100%以上であることから、短期的な債務に対する支払い能力は確保されている状況である。

「④企業債残高対給水収益比率」は、前年度より減少した。

「⑤料金回収率」は、100%を上回っており健全経営が維持できている。

「⑥給水原価」は、類似団体と比べても低い水準を維持できている。

「⑦施設利用率」は、前年度より減少した。

「⑧有収率」は、前年度に引き続き漏水調査の実施や漏水箇所の早期修繕を行っており、類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値を下回っており、アセットマネジメントに基づき引き続き適切な施設更新計画を進めていく。

「②管路経年率」は、法定耐用年数を超えた管路の増加に伴い上昇してきているが、類似団体平均値・全国平均値共に大幅に下回っている状況である。

「③管路更新率」は、重要給水施設管路の更新及び開発地内の新規布設を優先して実施しているため類似団体平均値を下回っているが、今後は老朽管の計画的な更新を実施する予定であり、上昇していく見込みである。

全体総括

経営の健全性・効率性に関する指標については、おおむね良好な数値であり、現在は健全な経営状況であると言えるが、人口減少に伴う水道需要の減少や人件費上昇、物価高騰による営業費用の増加により、前年度の数値を下回っている項目が多く、一層効率的な経営を行うことが必要である。

また、今後老朽化した施設の更新需要が増大していくことが見込まれることから、経営の健全性を確保しながら、計画的に施設更新を行う必要がある。

そのため、「壬生町水道ビジョン」に基づき、「安全」で「安心」な水道を「安定」して提供できるよう、計画的かつ効率的な事業運営を推進していきたい。